

2016年12月28日



公益財団法人 長崎平和推進協会

<http://www.peace-wing-n.or.jp>

- 長瀧重信顧問死去、アジア青年平和交流事業の2チーム認定
- 宮川康夫氏講演会のお知らせ、会員加入のご案内
- 国立長崎原爆死没者追悼平和祈念館について
- 平和推進協会秋のイベント報告（市民対象碑めぐり・市民のつどい）
- 長崎国際平和映画フォーラム 2016 報告
- TOPICS!（下平作江さん長崎新聞文化章受章ほか）



追悼集会（国立長崎原爆死没者追悼平和祈念館 追悼空間）

# ながたき 長瀧重信顧問(第二代理事長)死去

当協会の第二代理事長であり、退任後は顧問であられた長瀧重信・長崎大学名誉教授が、去る11月12日、胸部動脈瘤破裂のため東京都内の病院で亡くなりました。享年84歳でした。

用、吉永小百合さんの原爆詩朗読会の開催、第1回「核兵器廃絶―地球市民集会ナガサキ」への参画や国立長崎原爆死没者追悼平和祈念館の管理運営業務の受託決定など、活発な事業を展開してきました。

先生には、放射線医療・甲狀腺の専門分野でのご多忙な中、平成8年5月から平成15年5月まで、当協会の第二代理事長に就任していただきました。この間、当協会では先生のリーダーシップのもと、長崎原爆資料館図書販売コーナーの運営開始、愛称「ピース・ウイング長崎」の公募採

先生は、理事長を退任後も当協会や追悼平和祈念館に心を寄せられて、電話やメールで連絡をいただくこともあり、来崎された折には立ち寄ってくださいました。平成22年発刊の「協会設立25周年記念誌」には、「オバマ大統領を長崎へ」との文章を寄稿され「…協会が重要な役割を果たすことを期待します」と



設立 25 周年記念式典の様子

先生の協会に対する多大なご貢献に敬意と感謝の意を表すとともに、ご冥福を心からお祈り申し上げます。

結んでおられます。

## アジア青年交流事業 自分たちが考える 国際・平和交流プログラム

長崎の若者が  
平和への事業を  
開始!!

当協会の事業として  
**2チーム認定!**



金村先生と  
愉快的な学生たち

長崎県立大学  
シーボルト校

追悼平和祈念館が所蔵する被爆体験記等を活用し、紙芝居風に映像化して You Tube 等の SNS にアップして世界の若者へ拡散し、平和交流の場を創出する。



平和学習部  
ふりそでプロジェクト

活水高等学校

故・松添博氏作「ふりそでの少女」の物語の多言語化を通じて、提携校等との交流・相互理解を深めるとともに、大学の研究室と連携して被爆者の経験を追体験する。

長崎の若者が平和に関する独自の企画を立案する「アジア青年平和交流事業」の発表・審査会を9月11日に追悼平和祈念館で開催しました。これは、当協会の平和推進事業の一環として、若者の事業を支援し、必要な経費を当協会が負担するものです。

今年度は、「自分たちが考える国際・平和交流プログラム」というテーマで、募集を行いました。応募のあった2チームが平和に関する事業の発表を行い、両チームとも協会の事業として認定されました。

現在、両チームはそれぞれの事業に取り組みしており、3月に開催予定の「成果報告会」で発表します。

### アジア青年交流事業

当協会設立 20 周年記念事業として平成 15 年にスタートしました。当初は長崎と韓国、マレーシアの青年との相互訪問による交流を図ってきましたが、平成 23 年度からは「相互訪問形式」から「企画採用形式」に変更し、若者自身が企画するプログラムに対して事業認定を行っています。



公益財団法人 長崎平和推進協会 設立記念事業

宮川泰夫氏講演会



であい ふれあい ひびきあい

～「のど自慢」12年の旅から～



初任地は長崎でした！

と き

平成 29 年 2 月 19 日 (日)

開場 13 時 30 分 開演 14 時 00 分 (終演予定: 15 時 30 分)

と ころ

長崎市平和会館ホール(長崎市平野町 7-8)

入 場 料

無料(郵便はがきによる応募が必要です)

応募  
方法

郵便はがきに「郵便番号」「住所」「氏名(ふりがな)」「電話番号」および  
当協会会員は **会員** と朱書きし、下記までお申し込みください。

〒 852-8117 長崎市平野町 7-8

(公財)長崎平和推進協会「講演会」係

- はがき 1 枚につき、1 人の応募となります。
- 協会会員に限り、はがき 1 枚で 2 人まで応募できます。
- 協会会員で 2 人応募する場合は「2 人希望」とお書きください。

応募締切

平成 29 年 1 月 31 日 (火) 当日消印有効

(応募者多数の場合は会員優先のうえ抽選となります)

## Profile

昭和 20 (1945) 年新潟県生まれ。東京大学文学部社会学科卒業後、NHK に入局。初任地は長崎。

「NHK のど自慢」の司会を 12 年務め、全国 600 ケ所 (海外 9 ケ所) を訪ね、15 万人の人々と出会う。他に「紅白歌合戦」「NHK スペシャル」など数々の番組に出演。定年退職後も「生活はっとモーニング～名医からのメッセージ」、 「ラジオ深夜便」等のラジオやテレビ番組、講演活動と精力的に活躍中。

## 会員 加入の ご案内

一緒に平和の輪を広げませんか？



長崎平和推進協会は「核兵器の廃絶と世界恒久平和」を目指し、昭和 58 年に設立されました。

初代理事長の故・秋月辰一郎氏の「官民一体となって核兵器廃絶と平和を実現するために『小異を残して大同に集まろう』」という理念、つまり「個々に異なる考え方はそのまま残し、核兵器廃絶という大きな共通認識で集合し、平和推進活動を行っていこう」という考え方を基本としています。

平和の尊さを次の世代に伝える「被爆体験講話」や、長崎原爆資料館や被爆遺構を案内する「平和案内人」の育成・派遣、国立長崎原爆死没者追悼平和祈念館の管理・運営など、平和推進・啓発に関する様々な活動を行っています。

まずは、お気軽にお問い合わせください。



被爆体験講話



平和案内人のガイド

### — 会員の種類 —

維持会員(個人) 3,000円以上/年  
賛助会員(個人・団体) 1口10,000円/年  
学生会員 1,000円以上/年

お問い合わせ先

公益財団法人 長崎平和推進協会 (ピース・ウイング長崎)

☎ 095-844-9922 (平日 9 時～ 17 時) E-mail [info@peace-wing-n.or.jp](mailto:info@peace-wing-n.or.jp)

平和を  
祈る

## 国立長崎原爆死没者

### 追悼平和祈念館

国立長崎原爆死没者追悼平和祈念館は、原子爆弾による死没者を追悼し、永遠の平和を祈念する施設として、平成15年7月に開館しました。

隣接している長崎原爆資料館は被爆の惨状を示す資料などの展示によって原爆について知ることができ、追悼平和祈念館は、原爆で亡くなった方々を追悼し、未来の平和を祈っていただく場所です。

追悼平和祈念館は、原爆投下時に一瞬にして自然を奪われたことから緑に囲まれており、静かに祈る場所として地下に造られています。また、水を求めながら息絶えた原爆犠牲者のため、地上には館全体を覆う水盤、館内には滝と5つの水盤が設置されており、館内では水の音が絶え間なく聞こえてきます。

追悼平和祈念館の最大の目的である「追悼」を行う追悼空間には、原爆死没者名簿が収められた棚があり、現在、長崎原爆死没者の名簿174冊（17万2230人）が収められています。



#### 追悼空間

追悼空間にある12本のガラスの柱は、平和の願いが全世界へ届くように光を灯しつつ空に伸びています。季節によっては、ガラスの柱と外の光の関係で虹を見ることができます。



#### 回廊の壁

祈念館のほぼ全体が杉の木目版のコンクリートの壁でできています。年輪を積み重ねていることから、歴史の積み重ねが表されています。

#### 追悼空間・名簿棚

死没者名簿が収められている名簿棚の約250m先が爆心地であり、祈りを捧げる場所として多くの追悼集会が行われています。



名簿棚の一番下には、何も書かれていない1冊の白紙の名簿があります。これは、原爆によって家族全員が亡くなるなど、お名前が分からない多くの方々を追悼するために収められています。

また、毎年5月には名簿の状態を確認するため、風通しが行われています。



祈念館に入ると回廊を巡りながら「追悼空間」へと導かれます。迷路のようでもわかりにくいというご意見もいただきます。世界各地の祈りの場には「巡る」という行為が多く見られます。追悼空間で心静かに祈るための準備を行えるように、周りを巡るよう設計されています。

一度皆さんも足を運んで、ゆっくりと心安らかに平和の祈りを捧げてみませんか。



#### 交流ラウンジ

大きなガラスの奥には滝があり、モニターでは被爆者の体験や様々な情報を上映しています。折り鶴コーナーも設置しています。



#### 地上部の水盤

原爆投下により約7万人の方が亡くなったことから、夜になると水盤には約7万個の灯りがともります。

地上部水盤の入口にある緑色のガラス板には、国立長崎原爆死没者追悼平和祈念館の銘文が刻まれています。

#### 銘文

昭和20(1945)年8月9日午前11時2分、長崎市に投下された原子爆弾は、一瞬にして都市を壊滅させ、幾多の尊い生命を奪った。たとえ一命をとりとめた被爆者にも、生涯いやすことのできない心と体の傷跡や放射線に起因する健康障害を残した。これらの犠牲と苦痛を重く受け止め、心から追悼の誠を捧げる。原子爆弾による被害の実相を広く国の内外に伝え、永く後代まで語り継ぐとともに、歴史に学んで、核兵器のない恒久平和の世界を築くことを誓う。



## 1 平和祈念・死没者追悼

原爆の犠牲となつた多くの方々を追悼し、永遠の平和を祈念するために、死没者名簿とお名前・ご遺影を永久に保存します。寄せられた公開可能なご遺影は、館内の展示システムに登録し、追悼空間前室や遺影・手記閲覧室でご覧いただけます。

追悼平和祈念館では随時、原爆死没者のお名前とご遺影を募集しています。詳しくは祈念館にご連絡ください。



長崎と広島にある追悼平和祈念館の目的は、①平和祈念・死没者追悼、②被爆関連資料・情報の収集及び利用、③国際協力及び交流であり、長崎では次のような事業に取り組んでいます。

## 2 被爆関連資料・情報の収集及び利用

被爆者や家族、友人などが記した原爆に関する手記や被爆体験記を収集しています。また、被爆者の証言映像制作や、被爆関連資料の多言語化、聞き取りによる執筆補助も行っています。こうして集めた貴重な資料を、企画展や朗読ボランティア「永遠の会」の朗読を通じて、広く活用することで、被爆の実相や平和への願いを伝えます。

## 3 国際協力及び交流

被爆者治療や研究活動、放射線被ばくに対する医療協力活動等を紹介しています。また、平和に関する国際機関や関連施設、団体などを検索することもできます。

このほか、通訳ボランティアを育成するため、3ヶ国語（英・中・韓）の講座を行っています。また、核兵器のない世界の創造へ向けて海外原爆展やピースネット、被爆者健康講話、映画フォーラム、国際平和ネットワーク構築プログラムなどの事業を実施しています。

### 「ピースネット」とは？

長崎市への訪問が難しい遠隔地とインターネットをつなぎ、被爆者の生の声を伝え意見を交わす平和学習です。近年、積極的に海外とのピースネットも行っており、被爆の実相を広く伝えていきます。見学することもできますのでご連絡ください。



長崎の追悼平和祈念館は主に「国際協力及び交流」を担っており、たくさんの事業を行っています。



### 企画展

被爆体験記等の活用及び閲覧促進を目的とし、原爆で多くの人が犠牲になった事実を伝えるために、企画展を開催しています。



### 遺影・手記閲覧室

祈念館に登録していただいた遺影をパソコンで見ることが出来ます。また、貴重な被爆者の手記や体験記を読むことが出来ます。



### とわ 永遠の会による常駐朗読

朗読ボランティアが、遺影・手記閲覧室にて土・日曜日の13時から16時まで被爆体験記の朗読を行っています。



### 平和へのメッセージ

パソコンやカードに平和のメッセージを書き込むことができます。パソコンでは絵や写真も保存でき、10年間閲覧できます。

平成2年、政府は国として原爆死没者への弔意の表し方の検討を始め、平成6年に成立した「原子爆弾被爆者に対する援護に関する法律」の第41条に「平和を祈念するための事業」を規定し原爆死没者を追悼する施設の建設を決定しました。完成まで様々な議論がなされて平成15年7月6日の開館を迎えました。「原爆資料館で実相を知り、追悼平和祈念館で祈る」ことで原爆の悲惨さを知り、被爆者の苦しみを実感できると思います。被爆体験の継承が困難になりつつある中で、多くの人々に追悼空間に立ち寄り死没者へ心を寄せていただきたいと思います。



長多正信館長

## 国立長崎原爆死没者追悼平和祈念館

Nagasaki National Peace Memorial Hall for the Atomic Bomb Victims

所在地 長崎市平野町 7-8

TEL 095-814-0055

<http://www.peace-nagasaki.go.jp/>

入館料 無料

開館時間 8:30～17:30 ただし5月～8月は18:30まで  
(8月7日～9日は20:00まで)

休館日 12月29日～31日





被爆者自らが  
被爆遺跡を  
案内！



市民対象  
碑めぐり  
9/25

継承部会原爆遺跡研修班による「市民対象碑めぐり」が開催され、約40人の市民の方々が参加されました。この碑めぐりでは、継承部会員（被爆者）が設定したコースの中で、その場所に関する被爆時の体験や、被爆後に見た光景など、様々な場所と自らの体験を絡めて案内します。

今回は、大橋町の西郷橋公園で自分の恩師が体験した話や被爆前後の町の様子、周辺で兄弟を火葬した際の話、西町踏切付近では工場で勤務中に被爆した後家族のもとに帰りたいと乗った救援列車で見た光景などを話されました。また、長崎大学文教町キャンパスでは、そこにあった工場で動員中に被爆した姉の体験や、現在とは違う当時の学校制度の話などが紹介されました。

当時はどのような状況だったのか、今となつては本や写真等の資料から情報を得るしかできませんが、その場所に立つて、被爆者自らの言葉で聞くことで、より詳しく様々な方向から当時を想像することができるように感じます。

参加者からは、「自分たちの地域について調べ、できることを考えたい」「今日参加して知ったことを、今後積極的に伝えていきたい」との感想が発表されました。

この碑めぐりは、年に2回開催しています。次回は3月5日（日）に開催し、八幡神社や城山小学校など城山地区周辺を巡る予定です。

## 長崎平和推進協会 イベント Report



1



2



「平和」について  
考える日！



国連軍縮週間  
関連イベント

市民のつどい

10/29



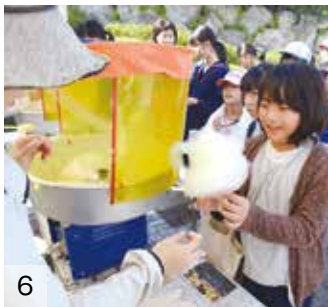
3



4



5



6

市民大行進に合わせ、原爆資料館前階段下広場で、当協会の恒例イベント「市民のつどい」を開催しました。前日の大雨が嘘のように晴れ、子どもから年配の方までたくさんの方が訪れてくれました。長崎県地域婦人団体連絡協議会の皆さん、活水高校平和学習部の生徒さんは戦時食コーナー、継承部会員はエコ風船コーナー、写真資料調査部会員は原爆写真展、国際交流部会員は折り鶴コーナー、音楽部会員はミニコンサートにご協力いただきました。

今年は修学旅行生の姿も目立ちました。例年たくさん来てくれる学童クラブの子ども達は、綿菓子とポップコーンコーナーに行列を作り、ようやく順番が来ると笑顔で受け取っていました。また、エコ風船には思い思いの平和のメッセージを書いてくれました。

たくさんの方にとつて、「平和」について改めて考える日になったのではないのでしょうか。

- ① 戦時食コーナー
- ② エコ風船コーナー
- ③ 原爆写真展
- ④ 折り鶴コーナー
- ⑤ ミニコンサート
- ⑥ 綿菓子コーナー





被爆の実相を  
世界に伝える！

## 海外原爆展

ドイツ・ドレスデン市

9/21~10/30

### — 海外原爆展開催地 —

- 平成 17 年 アメリカ (シカゴ)
- 平成 18 年 アメリカ (ラスベガス)
- 平成 19 年 スペイン
- 平成 20 年 ベルギー
- 平成 21 年 マレーシア
- 平成 22 年 オランダ、トルコ
- 平成 23 年 ロシア
- 平成 24 年 アイスランド
- 平成 25 年 ニュージーランド
- 平成 26 年 カザフスタン
- 平成 27 年 アメリカ (セントポール)



被爆の実相と平和の尊さを世界の人々に伝えるため、毎年海外原爆展を行っています。今年は、第二次世界大戦中に連合国軍による無差別爆撃で壊滅的な被害を受けたドイツ・ドレスデン市で開催しました。継承部会員の山田一美さんが、ドレスデン市とテュッセルドルフ市の7つの会場で計8回の被爆体験講話を行い、学生を中心に多くの方に聴講いただきました。

講話に続き、原爆が投下された後の山田さんの暮らしや、町の復興などについて多くの質問が出ました。また、「今まで被爆者の話を聞いたことがなかったので、とても貴重な体験になりました」「二度とこういうことは起こってはならないと思いました」などたくさん感想も寄せられました。

原爆展会場では、ドレスデン空襲被災者3人との対談も行われ、互いの体験や体験談を語るようになったきっかけ、次世代への継承などについて意見が交わされました。

## 追悼平和祈念館 イベント Report



①



②



③



④



朗読劇出演の松崎謙二さん



リウカンジミニコンサート



平和メッセージコーナー

### 長崎国際平和 映画フォーラム 2016

12/10~12/11

### 上映作品

- ビルマの豎琴 (旧作版)
- 父と暮せば
- 戦場のピアニスト
- 100 ばんめのサル (アニメ)



長崎国際平和映画フォーラム2016を、原爆資料館ホール、追悼平和祈念館交流ラウンジで開催しました。

4本の映画上映や、原爆を題材にした朗読劇、写真家ポーレ・サヴィアーノさんの写真展、ミニコンサートや祈念館長ツアーなどを行いました。

今回は、「皆さまがより親しみやすい映画フォーラムに」をコンセプトに、著名な映画の上映やご家族で楽しめるプログラムを組み入れました。そのためか、前回は大きく超える延べ1500人の来場者がありました。

また、事前PRや当日の運営には、長崎大学の学生など多くの若者が参画し、平和映画フォーラムを通じて平和について考える契機になったのではないかと思います。

来年度は、地域との連携などについても考え、より充実したものにしていきたいと考えていますので、引き続きご支援をお願いいたします。

- ①ポーレ・サヴィアーノトークセッション
- ②朗読劇 (市内高校生)
- ③朗読劇 (永遠の会)
- ④祈念館長ツアー

## 下平作江さんが長崎新聞文化章を受章

当協会の元理事で、継承部会員として長年にわたり被爆体験講話を続けておられる下平作江さんが、平成28年度の長崎新聞文化章（平和・福祉部門）を受章されました。

同章は、長崎県の文化・教育、産業・科学、平和・福祉の発展、振興、向上に尽くした方々を顕彰するもので、昭和30（1955）年に創設された伝統と権威ある章です。

下平さんは、10歳の時、爆心地から約800mの防空壕で被爆しました。その後、髪は抜け、歯茎から出血するなどの症状に苦しみましたが、奇跡的に一命は取り留めました。しかし、母と姉と兄を亡くし、困窮を極めた戦後の暮らしを共に頑張った妹も10年後に亡くなりました。そのような壮絶な体験を広く話して、核兵器の非人道性や戦争の悲惨さを強く訴えてこられました。あわせて、被爆者団体の要職や長崎市の平和宣言起草委員会の委員にも就かれ、被爆者援護や核兵器廃絶の運動に努めてこられました。今回、このような下平さんの長年の功績が顕彰されたものです。

当協会として、今回の受章を心からお喜びするとともに、下平さんの今後末永いご活躍を祈念申し上げます。

## 長崎市のふるさと納税の返礼品に参加！

長崎市の「ふるさと納税」の返礼品の一つとして、当協会書籍販売コーナーで販売している商品が登録されました。すでに数人からご注文をいただいております。「平和推進のために活用いただきたい」との応援メッセージも複数寄せられています。

長崎から全国へ。平和への想いが更に広がるよう活動を続けていきます。



## 「会員の広場」にお便りをお寄せください！

平和推進協会では、会員の皆さまよりお便りを募集します。会報をご覧になってのご意見、ご感想、お便りなど、会員の皆さまの声をお寄せください。投稿いただいた声は、広報委員会を経て、「会員の広場」で会報「へいわ」に掲載させていただきます。

✉ E-mail アドレス : [info@peace-wing-n.or.jp](mailto:info@peace-wing-n.or.jp)  
〒852-8117 長崎市平野町7-8 (公財) 長崎平和推進協会「会員の広場」係

\* 投稿は、200字以内でお願いします。また、匿名の投稿は、ご遠慮ください。

## 世界の核弾頭の数 (2016年6月1日現在)

ロシア	米 国	フランス	中 国	英 国	イスラエル	パキスタン	インド	北朝鮮	合 計
~7,300	~7,000	300	260	215	80	100~130	100~120	<10	~15,350

長崎大学核兵器廃絶研究センター(RECNA)提供 <http://www.recna.nagasaki-u.ac.jp/>

## 会員数報告

◎維持会員 1089人  
◎賛助会員 144人  
◎学生会員 12人

(平成28年12月14日現在)

賛助会員(団体・法人)の一覧は協会ホームページに掲載しています。  
ご支援・ご協力誠にありがとうございます。

## 寄付者紹介

ありがとうございます

◎川上 正徳 (敬称略) 一万円  
◎松本 誠子 一万円  
◎匿名 五千元  
◎匿名 二千元  
◎匿名 二千元  
◎匿名 一千元

## 会費納入のお願い

当協会の活動は皆さまの会費に支えられています。  
今年度まだ会費を納めていただけていない方は、何とぞ趣旨をご理解いただき、先にお送りしている払込票により最寄りの郵便局で納入ください。お支払いいただいた会費は、源泉所得税の税額控除の対象となります。  
詳しくは当協会ホームページをご覧ください。事務局までご連絡ください。

